

## 2021年度 第3回教育委員会議事次第

日 時 2021年 9月30日(木) 10:30 ~ 16:20

会 場 日本代協 会議室(Web開催)

出席者 石川委員長

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	伊藤	北東北	藤本	南東北	赤城	上信越	古瀬
東関東	井上	南関東	丹野	東京	雨宮	東海	八木
北陸	中村	近畿	谷口	阪神	山本	東中国	藤原
西中国	近藤	四国	渡部	九州北	甲山	九州南	徳丸

事務局:小田島副会長、小見常務、金澤部長、黒田部長

### (配付資料)

- 4-1 コンサル Web セミナー日程(2021年度 1回目)
- 4-1 関連 2021 セミナー案内案 20210928
- 4-1 関連 コンサル Web セミナー回数(2021年度 1回目)4
- 4-1 関連 全国オリエンテーション関連各種照会 2021年 9月
- 4-2 コンサル Web セミナー運営マニュアル 0930
- 4-2 関連 Web セミナー運営マニュアル「当日の役割分担一覧」案
- 4-3 Web セミナーデモ日内容 2021年 10月 7日-3
- 4-4 代替策展開状況等
- 5-1 2021年度コンサルティングコース受講者募集目標数
- 5-2 コンサルティングコース教育プログラム募集要綱(2022年 4月~)新旧対比表
- 5-3 損害保険大学課程各コースの認定状況等について
- 5-4 認定バッジの販売個数推移(8月末現在)
- 5-5 (昨年度)募集ツールの配布依頼ならびに受講勧奨の積極的推進
- 6-1 日本代協アカデミー\_集計レポート-更新代理店
- 6-2 アカデミー 両面チラシ PDF(本年 10月-11月用)
- 6-3 アカデミー 新コンテンツ関連(2021年度)
- 6-3 関連 リスクマネジメント講座
- 7-1 2022年度事業計画に対する提言ご提出のお願い
- 7-2 2022年度提言報告要旨(from 教育委員会)
- 9-1 0927 日本代協ニュース
- 9-2 0909 日本代協理事会議事録サマライズ版

---

### 議 事

---

(進行) 石川委員長 (書記) 黒田部長

#### 1. 議事録作成者の指名、出席者の確認

石川委員長、教育委員16名、小田島副会長、事務局:小見常務、金澤部長、黒田部長

#### 2. 石川委員長挨拶

上半期ラストの本業が大変忙しい日に集まってもらい有難うございます。この貴重な時間を教育委員会にいただき感謝しています。昨日は岸田さんが総裁に選ばれましたが、小平政連会長のFBで知ったのです

が、岸田さんは保険業界とも関連が深いそうです。今後が楽しみです。さて、本日も盛り沢山ですが、10/7に開催予定のWebセミナーデモ日のことなども含め、しっかり情報共有いただければと思います。また、先日の理事会で2022年度開講のコンサル募集人数目標の承認をいただきましたので、各ブロックの中で確認をいただければと思います。そして、アカデミーに関しましては、本日がまさに更新の最終日になりますので、その状況に後ほど触れてもらいます。更には、ご承知の通り、新しいコンテンツも次々投入していますが、来年度の投入に向けた予算化についても本日しっかり論議いただきたいと思っています。次の委員会は来年1月を予定していますが、その頃には、今述べてきました数々の重要な事業が進行した状態で迎えることになります。そういう意味でも本日は重要な委員会になると思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 小田島副会長挨拶

毎日、教育の事業の推進と進行に心を砕いて行動していただき心よりお礼申し上げます。まず、9月の全国の委員さんに向けたWeb化のセミナーについて、私も参加させていただきましたが、皆さまが温かい気持ちで前向きにやって下さっているのを感じとれて嬉しく思いました。現場には様々な課題や悩みがありますが、委員さんたちがクッション役になってとにかく前に進めるということに頑張ってくださいていることを改めて知りました。引き続きよろしくお願いいたします。私は企画環境も担当していますが、どちらも大きなテーマ、会員さんのこれからの未来を照らしていくということで、そうした学びの場を大事にできたらと思っています。現場で色々なことを展開しようとする、反発が起きたりもしますが、皆さんがこんなにも時間を掛けて様々な方向から課題を考えておられますので、自慢するくらいの気持ちで皆さんが取り組めるように動いていけたらと思っています。コロナ禍で非常にダメージを受けている業界もあります、そういうところは業界を挙げて資質向上等に取り組むたくても取り組めない状況があります。その中で我々の業界も大変ですが、日本代協そして教育委員会が場を作って、教育の大切さ、学びの時間の大切さを知らせていくことは非常に尊いことで、会員さんにとっても有難いことです。そこに繋げていくのが私たちの役目であり、未来の道を作っていくことにあると思いますので、そのための問題を委員会の場に出し合って、いい方向、解決策を示してください。今日も、どうぞよろしくお願いいたします。

### 4. 「損害保険大学課程」の運営

#### (1) Webセミナー準備状況(2021年度受講生)

雨宮副委員長より、資料4-1・4-2にそれぞれ沿う形で、

セミナーの各ブロック開催日程(単独開催と合同開催、合同開催の場合の「主体」の意味など)

受講生への案内メール(日程変更のやり方、ZoomURL連絡、接続テスト、教育事務センターtelなど)

運営マニュアル(全国オリ時点との改定点:分散会の講義前体験、Zoomふうたプロフィール画面とその意味、サポーター役の役割明確化と当日必要数目安。代替策動画ディスカッション部分の事前視聴、当日代替要員確保、受講状態確認役は別途、科目3になった際の退席、当日の役割分担など)

当日の役割分担一覧(日本代協教育委員、派遣オペレーター、当日のサポーター、講師それぞれ)

のポイント、コンサルセミナー代替策(2020年度受講生対象に、撮影済みの動画をWeb視聴してもらい、提出レポート合格で修了とみなす方式)を中心に説明が行われた。

#### < 質問等 >

Q1. 従来は受講生に圧縮ハガキでの案内もあったが、今回はどうなるのでしょうか？教育委員の携帯番号が表示されていたこともあったの確認です。

A1. 出さないことで進めている。今後状況次第で、変更もありうる。Faxは未登録者が多く使えない。なお、今回は携帯番号ではなく、アグレックスやインソースの番号で十分との認識です。

Q2. 司会者(運営責任者)は、サポーター役とは違って、当日は、ずーっと顔出しが必要でしょうか？

A2. 検討中であるが、司会者ではあっても、音声聞ける状況なのであれば、該当者の負担軽減もあ

り、顔出しなしの時間帯があっても良いとの方向性で考えている。

Q3.チャットのあて先はどうするのでしょうか？選べるのでしょうか？

A3.運営責任者およびサポーター役は、宛先が選べるので、それで進めている。

Q4.サポーター役の動員が十分にできた場合、1グループ1名とかでも良いのでしょうか？

A4.検討中です。日当の支払いのことなども考慮する必要があります。

Q5.ブロック合同での開催の場合、司会者は1人でしょうか、それぞれが行うのでしょうか？

A5.1人だと考えています。例えば2回目も合同開催でしたら、交代いただくイメージです。

Q6.サポーター役の動員が十分にできた場合、1グループ1名とかでも良いのでしょうか？

A6.検討中です。日当の支払いのことなども考慮する必要があります。

Q7.コロナ対策で、当日サポーター役に何かあった際のため待機いただく方に日当は支払われますか？

A7.検討中です。[10/12 追記:移動等を伴わないこともあり、待機者は日当対象外。]

Q8.自ブロックの本番に備えて、試行する東京での開催にオブザーブしても良いのでしょうか？

A8.その方向で、検討中です。(事務局から後日連絡)

Q9.Web でやるので、地域毎にする必要がないかもと。地域毎だと受講生数が多いブロックにサポーター要請が数多く来ますが、何等かの軽減はできないのでしょうか？

A9.そうした課題も踏まえて受講生番号順なども考えたが、アグレックス社のサーバーに負荷が多くかかっていることもあり、その恐れがない従来同様の地域毎に落ち着いた経緯です。

(来年1月の2020年度生向けセミナーで、頻度少なかったブロック主体でお願いするアイデアあり)

Q10.沖縄はこれまで別会場であったが、ブロック同一で良いのでしょうか？グループ数とそのサポーター役の動員は東京と同じで良いのでしょうか？九州合同日は？

A10.沖縄も別でなく同一です。各セミナーも東京と同じ考え方でお願いします。(九州合同日も決定)

Q11.リアルの時は色々な当日業務があったが、Web ではどうなるのでしょうか？

A11.役割表の通りで、これまでのような業務は無くなります。ただ、これまでと異なり、集中する必要があるという意味での時間的拘束は発生するかもしれません。

#### <全国オリエンテーションでの質問集約等>

- a. ブロックとしては、なるようになるだろうという感じも出て、特段の質問は出ませんでした。
- b. オリでは、サポーター役の動員が大変だという不安感があったが、本日の説明を聞いて安心しました。司会役と運営責任者が別でも良いと言っていたので、それも有りがたいです。
- c. ずーっと顔出しが必要かという懸念があったが、そうでなくても良いということで有難いです。(司会者が顔出ししなくても良いかは、要検討)
- d. Zoom の使い方について不安があるので、ブロック内で練習しておくべきとの意見がありました。
- e. 色々質問はあったが、本日の説明でほとんど解消しました。受講生態度の監視も任意になったので。当日のPC等の操作不具合もインソース社のヘルプデスクで良いということも分かりました。
- f. 司会は、県内で回しているのも、同様に行います。なお、スタッフのWeb環境が気になっています。(スタッフのWeb不具合もインソース社で対応できるか要検討。なお、サポーター予定者の中でWeb環境が整わない方が居られる場合には、改善費用負担はできないので、別の方に頼む必要がある。)
- g. ブロックでのセミナー案内人数が固まるのはいつ頃でしょうか？サポーター役確保の関係です。(2週間前には確定します。それより前に、目安人数はご連絡します。)
- h. 変更連絡は3週間前まで運用でしょうか？参加確約をしないままの欠席が出そうな気がしますが...。(3週間前までの運用です。その歩留まりを考え、定員60名に対して66名案内するなどします。)
- i. グループディスカッションの運営で心配している人がいた。日当の件も心配有ります。(進行役に関しては、もっとわかりやすくする方向で検討中です。サポーター日当は出ます。)
- j. 東京をお手本に進めていければと思っています。是非オブザーブ参加したいと思っています。
- k. 今日のこれまでの説明で、質問事項は解消しました。日当金額の確定後に迅速に教えて欲しい。

- l. これまでの説明で解決しました。10/7 のデモ日も参考にしたいと思います。
- m. 当日の代協側のちょっとした打合せがチャットで出来るか、同一代理店のハウリングも心配です。  
(同じ会議室で参加された場合の対策は要検討)
- n. スタッフへの教材配布はどうなっていますか？スタッフの依頼基準はありますでしょうか？都道府県代協事務局との関係はリアルと異なるでしょうか？目安人数の出所を教えてください。  
(スタッフへの教材配布は、近日、送付希望数を確認して実施。基準はなく各ブロックにて対応。リアルと異なり、教育委員側での対応が専らかも。目安人数は本年2月の理事会資料。)
- o. 受講者名簿は手元に届きますでしょうか？個人的には無くてもいいと思っていますが...。単独か合同かの振り分けはランダムでしょうか？  
(個人情報ということもあり、届かない方向かと。振り分けはランダムです。そのように対応ください。)
- p. 東京へのオブザーブ参加希望が多く、それは大変ありがたいことである反面、受講生 60 名に対して例えば 40 名のオブザーブ参加とかなになると、受講生も派遣オペさんも困惑する可能性があるかもと。  
(オブザーブではなく、当日にスタッフ参加をいただけないかなど事務局として要検討)

続いて、10/7 のデモ日関連につき、資料 4-3 を使用しながら、

雨宮副委員長より、全国各地の教育委員が中心にサポーターとなって行う掲題につき、講師も含めて、

・「いつ、どこで、誰が、何を」やればよいかを疑似体験も含めながらイメージしてもらおうと共に、

・机上で考えた進行シナリオが上手くいくかを確かめ、取捨選択する機会とも位置付ける。

という前置きがあり、

また、主なポイントとしては、分散会の出入り、チャットの操作、当日の司会などであり、当日は任意参加での反省会を行うとの説明があった。

なお、事務局から当日の科目毎のデモのポイントにつき補足説明があった。

#### < 質問等 >

- Q1. 当日、所用で 1 時間半程度参加できないが、録画等を見ることは可能でしょうか？  
A1. 当日のホストは、大森で行うこともあり、インソース社となっているので、頼んでおきたいと思います。
- Q2. 当日の実施内容が分かるこの資料(4-3)は、参加予定者に送るという理解で良かったでしょうか？  
A2. はい。デモ日のアクセス等のご案内に添付予定です。

#### (2) 代替策推移状況等(2020 年度受講生)

雨宮副委員長より、資料 4-4 に基づいて、録画視聴状況のほか、レポートに関して提出が締切間際にならないようにリードも必要だとの説明があった。

### 5. トータルプランナーの魅力度向上・推進

#### (1) 次年度募集等

丹野副委員長より、資料 5-1 に基づき、ブロックの目標数が昨年度と同一であり、それを理事会で承認いただいたことの説明があった。2 週間後の 10/15 までに Direct を使って都道府県代協毎の目標報告をすることとなった。(西中国・東海・東関東・南東北は前年度と同数で確定との挙手あり。近畿と上信越は、上記スケジュールまでに打合せの機会が持てない可能性あり。)なお、募集ツール数の確認も行うことになった。

次に、資料 5-5 に基づき、昨年度の募集関連スケジュール等を確認し、今年度も同様の準備が必要であることの説明があった。特に、保険会社への配布等が上手くいかなかったことがあることを踏まえ、漏れなく確実に配布すべく、過去の記録確認や支社などの住所変更確認などを行っておくことにつき言及があった。

更に、勧奨に関して、過去においては募集開始と共に、自然に申し込みがかなりあった時もあったが、そのような環境でない代協も出てきていると思うのでとして、情報交換を行った。(ブロック内の励ましあい、非

会員対策としての保険会社との連携、12月以前からの着手、見込リストの作成と活用、代賠との関連など) それらを踏まえ、840という目標数共に、全代協での目標達成を図っていこうとの意思統一があった。また補足として、損保各社の代手ポイントとの関連も一段落感はあるが、例えば、2020年度受講生が、一旦、全額返金を選択し、再申し込みしようとする話もあるので、取りこぼしの内容にしていこうということになった。

## (2) 上記以外

合格された受講生への写真付きの認定カードを無料進呈する動きが協会内で出ているとの説明が事務局よりあった。

なお、その説明を受け、せっかくなら認定バッジも無料進呈できないかとの意見があり、それを行うと費用負担の関係で募集目標数が上がってしまうかもしれないが... という気持ちを振り切って、代協として要望していこうということとなった。

## 6. 「日本代協アカデミー」の展開

### (1) 更新月推進状況

中村リーダーより、今回の更新月用に手配した資料 6-1 に沿う形で、ID 登録数というよりは、利用代理店数に着目しての現状説明を行った。その中で、今回の滋賀代協が更新率 100%を達成したこと(近畿ブロックより、対象者の早期更新に努めた結果との披露あり)、あるいは逆に今回の数値的には振るっていないが、前年度対比で倍増の勢いの長野代協などの紹介があった。

また、実際の更新漏れフォロー(ex.自動更新と勘違い。当初の経緯などから、入金が必要であることを失念。)の実話などと共に、画面共有で福井代協の継続漏れ会員へのアプローチ手法の披露があった。

更には、9月が更新月ということだが、更新漏れを1か月弱程度なら救える可能性はあるので、改めて更新漏れのフォローをしていこうとの意思統一があった。無料登録お試し期間開始代理店の今月の特徴も説明した。

#### < 質問等 >

Q1. 今回の集計データ以後の数値が分かるデータはいつ頃入手できますか？未更新リストは？

A1. 直近情報は 10/6 に集計データを入手予定。これは、9月末現在で更新した会員が分かるもの。  
なお、未更新リストは、中村リーダーが画面共有したものがそれにあたります。

最後に石川委員長より、更新漏れの中には、何となく継続しなくても良いかなというお気持ちが芽生えている会員さんも居られるかもということで、この後に続く新コンテンツの話題などを活用していこうとの働きかけがあった。

### (2) 新コンテンツ投入状況

古瀬リーダーより、資料 6-3 に沿う形で、(学習コンテンツ)ハザードマップ活用の基本、(情報コンテンツ) GoGo 情報探検隊:ミライト石川代表取締役・Next 三ヶ尻代表取締役、そして公開予定として、10月以降にブレインマークス、船井総研、阪神ブロックの決算セミナー・地震保険セミナーを次々投入予定であることの説明があった。

### (3) 上記以外[リスクマネジメント講座等]

小見常務より、資料 6-3 関連に沿う形で、日本代協アカデミー特別講座と位置づけられた表題につき、その意義や全体像、その仕組みや日本代協アカデミー(ネットチャンネル)との関係性につき説明があった。

また、成島 AD セミナーなどを参考にすると、代理店としての経営の本気度を確認される時代になっているとの認識や、BCP 計画策定の必要性についても披露があり、続けて、某損保で約 30 店位が集まる 세미나

ーに招かれたが、その中での質問の約 8 割位が教育についてであったことの披露があった。

最後に、代理店賠償の募集状況から、トータルプランナー割引を使っていない会員さんも多いことの披露があった。

## 7. 「日本代協アカデミー」の予算化について

石川委員長より、資料 7-1 に向けて委員会として動いていくこと、資料 7-2 に沿う形で、現時点での検討状況の説明があった。

主なポイントとして、コンテンツ投入が限られているという意味での現状を打破するためにも、日企頼みではなく、日本代協として代理店目線の独自のコンテンツ投入を行っていくべき時が来たのではないかとの認識と、今回は単年度の要望としてステップを踏んでいってはどうか、そして、11/12 までに提言を出すに際して、改めて教育委員会を開催できないという状況からすると、今回の委員会で相当に詰めておきたいということ考えているとの披露があった。

### < 意見等 >

・今回の案では、既に検討開始している 2 社のコンテンツしか出せないのも物足りない気がします。希望としては、学習コンテンツの拡充をお願いしたいところです。厚みを持ってもらいたいです。

・乗合代理店は、メールの数だけでも山ほど来るので、所属保険会社の情報をこなしていくにも大変に時間がかかっています。

・今回の 2 社は、経営者向けであり、かつ情報コンテンツなので、募集人に向けた学習コンテンツでかつ去年と違うものがあればよいと思います。

・教育プログラムが組みにくい状況になっているのは事実なので、損保各社のコンプラ講座等を確認したりすることも必要ではないかと。そして学習プログラムという形で提供できないかとも思います。

・乗合代理店は個社毎に対応をしなければならぬため、大変な状況。それを共通項目にするような流れはないのでしょうか？

・個社毎に色々やりとりすると、コンプラに限定すれば、何社かは乗ってくれる可能性はありそうに思います。

・受け手である会員が、+ ではなく、アカデミーのコンプラ講座を行えば、何社かのそれは免除できるようなことになるとメリットが出てくる。

・そうしたことを踏まえると、損保各社の認定基準になっているコンプラ講座(年 1~2 回?)を調べ、各社の内容を月ごとにカバーしていくような内容にする手はあるかと。「貴社と同じ内容のテーマを、〇月と 月に盛り込みます」として、各社の関連部署と事前調整をしたうえで、アカデミーコンプラ講座を作り、それをもって代替認定をしてもらうような流れです。(ex.業界共通のコンプライアンス講座)

・乗合各社の経費が増えることは栗山 AD が予言したとおりであり、大変だと思えます。

・乗合代理店さんにとって大助かりということなのであれば、ぜひ取り組むべき。

・教育委員会で行うところは、頭を使って各社の内容を調べることであり、それを外注業者に頼めばよいのでないか。

・損保各社が提携している業者を調べ、そことコンタクトを取り、予算規模を確認する手もあるのでないか。

・その流れから考えると、各業者さんからの OEM 方式で、取り込む手もあるかもしれない。

・今回の予算規模としつつ、その中でコンプラ講座の費用を捻出する手もあるかもしれないです。

・わくわくするような論議となっており、また、皆が必要だという学習コンテンツに向けた話なので、捻出する方向ではなく、別枠での、しっかりとした予算化を検討しても良いと思います。

その後、予算申請ということで反対意見の聴取を行おうとしたが、特に出なかったことを受け、審議に移り、全員一致で、コンプラ講座も含めた予算化を、全員 PT のような形で目指すことになった。

## 8. PT の状況: 各 PT の検討状況等

…これまでの各議題にて行ったとして省略…

## 9. その他情報提供

小見常務より、資料 9-1 を用いて、各委員会等の活動等につき、情報漏れのないようにと再確認的に概要説明を行った。(コンベンション、代協正会員実態調査、事業継続力強化計画認定取得制度、社労士診断認定制度、実態調査、建築基準法告示改定、など)

### < 石川委員長 >

本日はお疲れさまでした。これまでの情報から理解を進めていただいていたことで、本日はもっと時間がかかるかと思った Web セミナー関連も順調に進みました。感謝しています。10/7 は本番に備え多くの関係者に参加いただくようお願いします。12 月から始まる募集勧奨も確実にお願い致します。アカデミー更新も本日が最終日ですが、更改漏れ等を本日の話しも交える形でフォローいただきたいと思います。予算化に関しては全員 PT というつもりで極力参加して臨んでいただければと思います。

### < 講評:小田島副会長 >

皆さんお疲れ様でした。…で したと言うよりも、これからまた頑張ってください。最後の PT 日程調整で手を上げる際の皆さんの笑顔がいいなあと思いながら拝見しました。今日はコンサルコースの Web 化についての色々な話を聞かせていただき安心をしています。周りからの心配事などをしっかり集め、その回答もいただきました。それによって皆さんの現場での対応力が深くなったと思いますし、気持ちも安心されたと感じました。1 年前の 9 月に同じ委員会があり、先ほどノートを見てその時の内容を確認しました。移動制限が出ている、会議室は何人収容だ、日程が変更になる…それと同時に Web 化をどう進めていけばよいかというような話し合いでした。1 年たってこんなに環境が変わる、皆さんの手で環境を変えて来れた…素晴らしいことですし、これぞ教育委員会の仕事だなと改めて思っています。質問はないが、心配なところはあるという問い合わせについても、皆さんからたぶん大丈夫ですという心強い返事がありました、流石です。アカデミーの方はもう一息フォローをよろしくお願いします。夢のある、もっと役に立つ、そういう仕組みになっていこうとしているアカデミーなので、しっかり伝えてください。支部や委員会で会員さんとアカデミー登録はどうかお話しすることが多いのですが、使ってみてどうだった、何かいいことあったなどを交えてもらい、そこで聞こえてくる話を、委員会に戻して、その会員さんの声がコンテンツに繋がったり、その思いに寄り添えるようなものになっていくことも理想かと感じました。お仕事ある中で大変ですが、この 2 年間で仕上げることは、ものすごい価値を高めていく作業だと思います。身体にも気を付けて頑張ってください。

### [次回開催]

2021 年度 第4回委員会 2022 年1月14日(金) 10:30 ~ 17:00 [リアル開催を期待]

以 上